

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年3月10日(2016.3.10)

【公開番号】特開2014-137406(P2014-137406A)

【公開日】平成26年7月28日(2014.7.28)

【年通号数】公開・登録公報2014-040

【出願番号】特願2013-4649(P2013-4649)

【国際特許分類】

G 03 B 21/14 (2006.01)

G 03 B 21/00 (2006.01)

【F I】

G 03 B 21/14 A

G 03 B 21/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成28年1月13日(2016.1.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

青色帯域の光を入射し、少なくとも青色帯域、赤色帯域および緑色帯域の光を発生させる回転体であって、

前記回転体は、第1の面と、当該第1の面に対向する第2の面とを有し、

前記第1の面には、少なくとも青色帯域の光を反射する反射領域と、青色帯域の光を透過し少なくとも赤色帯域および緑色帯域の光を反射するダイクロイック領域とが形成され、

前記第2の面には、前記ダイクロイック領域を透過した青色帯域の光に基づき赤色帯域の光を発光する第1の蛍光体領域および緑色帯域の光を発光する第2の蛍光体領域が形成される、回転体。

【請求項2】

前記第1および第2の蛍光体領域は、前記第2の面の半径方向に複数組形成される、請求項1に記載の回転体。

【請求項3】

請求項1または2に記載の回転体と、

青色帯域の光を発する光源と、

前記回転体と前記光源の間に配され、前記光源からの青色帯域の光を第1の光軸に集光する第1の光学系と、

前記第1の光軸からシフトされた第2の光軸を有し、前記第1の光学系によって集光された青色帯域の光を前記回転体に集光させる第2の光学系とを有し、前記第1の光学系によって集光された光は、前記第2の光学系のレンズの片側半分に入射される、照明光学系。